



新年のご挨拶

一般社団法人 全国船舶無線協会
会長 菊川 亘

新しい年をお迎えになり皆様如何お過ごしでしょうか。

去年は英国のEU離脱や、米国大統領選挙など世界の動きは少しずつ変わってきました。OPECの減産やシェールオイル、円安による輸入生活物価の上昇、安全保障に関する費用の増大、われわれにはどうすることも出来ませんが、どれをとっても自分たちの生活に影響のあるものばかりです。

私たちが現状はこれで良いのか、日頃から問題意識を持つことでかなり変わる事が出来ると思っていますが如何でしょうか。

今年で6年目を迎える3・11東日本大震災で被害を受けた船舶は2万隻にのぼり、復興しつつあるとは言え、まだその半分にも満たないのが現状です。高齢化に伴い漁船漁業はまだまだ厳しい状況が続きます。また商船の建造も手持ち量は2～3年分あるとされていますが、去年の新規受注は“ゼロ”と報道されています。社会情勢がどのような状況でも会員の皆様の安定した経営と効率化を計らなければなりません。

去年は永年の懸案であった協会の会計一元化を行いました。これで将来に向けた協会の経営を安定させる第一段階を終えた事になります。従来、

支部毎の収支で対応して来ましたが、会員の皆様の全国同一負担により協会全体で会計処理をする事にしたわけです。今後数年を経て更に改善しなければならない事も出て来るとは思いますが、会員の皆様の理解を得てすこずつ進めて行くことが必要と考えます。

協会の主たる事業であります登録検査等事業者制度の実施についても、去年は多くの点検員の皆様が研修会に参加いただき、海上関係に従事する69%の方々が修了され、確実に技能の維持、向上が図られております。

また、後継者の育成のために平成17年から取り組み始めました4海通の国家資格取得支援の活動も12年目を迎え、毎年20数名の方が通信教育と直前講習を受講し、去年は合格率85%と驚異の数字をはじき出しております。

協会は顧客（ユーザー）の海上通信の安全確保のため、会員の皆様がより高い品質のサービスの提供を行えるよう行政と連携し、出来るだけの施策と支援を行い、お互いが協力して「全工協ブランド」を大事に事業の推進を計ろうと思います。

今年もご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。